



狭山ヶ丘通信

本校の実情をお知らせし、教育問題、社会問題等に関する本校校長小川義男の見解などをお読みいただくため「狭山ヶ丘通信」を発行いたしております。また、本校WEBサイトにてバックナンバーもご覧いただけます。http://www.sayamagaoka-h.ed.jp/ 〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 TEL:04-2962-3844 FAX:04-2962-0656 狭山ヶ丘学園 広報部



狭山ヶ丘高等学校
狭山ヶ丘高等学校附属中学校
校長 小川義男

耐える力を 身につけよう

コロナと医師 看護師 その他の医療関係者が戦って下さっている。その厳しい日々を支えているものは、何だろうか。命の危険さもあるのだ。「元気に帰宅せねばならぬ」という、家族に対する責任もある。それでも彼らは戦う。インフルエンザが猛威を振るっているときにも、彼らは病院を休んだりしなかった。「何故と思うか」と生徒に尋ねたことがある。答えは様々であった。私は、彼らの崇高な使命感だと思う。人間とは、これほどに、気高いものなのだ。

子供の頃「赤十字従軍看護婦の歌」に触れて泣いたことがある。
ほつ 火筒の響き 遠ざかる
跡には虫も声立てず
空吹く風は 腥く 紅染めし 草の色
やがて十字の旗を立て
テントを指して 担いゆく
テントに待つは 日の本の
仁と愛とに富む婦人

ほんの一節だが、私はこの歌の全文を歌って泣いた。これが「赤十字従軍看護婦」なのだが、今も、昔の国民医療に携わ

る方々の精神的気高さは、私の稚拙な筆では伝えられない。全文を歌って聞かせたいなあ。

そのように気高い精神に支えられて、我々は生活を送っているのだ。深く感謝する意味でも、努力せずに、凡庸な毎日を通り過ぎては、申し訳ないではないか。

諸君の中から、優れた医師、看護師、医療研究者が輩出されることを切望する。

特に大切なのは研究者だ。医学大国、科学大国日本で、コロナワクチンを世界に先駆けて作り出せなかったのは、まことに無念である。地下で野口英世先生が、「しっかりとやれよ」と声援を送って下さっている。

すべての医療関係者の方々にかけていただいた命だ。それぞれの学問分野において、厳しく戦わなくてはならないのか。ウイルスは、今や変容しつつ世界に拡大している。これとの明日の戦いを担うものは、まさに、若く、逞しく、生き生きとした、諸君たち若者をおいてない。頑張らねばならぬ。たるんでいては、命がけで我々を守って下さっている医療従事者の方々に申し訳ない。君らにも、命がけで学んでもらわなければならぬのだ。

中・高等学校の入試ごとき、何だ。難関大学入試ごとき、何だ。戦って倒せぬ敵など世の中にない。「激しく攻める者は 天国をも奪う。」諸君の奮闘に期待する。

恵みの雨とツノの梅雨

北海道に梅雨はない。その代わり、関東地方のように見事な晴天が続く快晴

の日々も少ない。

オイルショックと言って、我が国に石油が手に入らなかつた時期がある。ガソリンスタンドに長い列を作り、やっと幾らかのガソリンを手に入れたものだ。帝国ホテルに泊まったアラブの王様が、梅雨期の雨に接してつぶやいた。「おや、雨か。我が国には、石油はあるが、水はない。」

私も世界の砂漠全部を歩いているわけではないが、例えばモロッコは、その地盤は粘土質である。稀に大雨が降ると、長い間、水たまりができる。でもみんなが渴望していた雨だ。エジプトに雨は降らないらしい。遙か南のアスワンハイダムを源流として、ナイル川が南に延びる。飛行機で見ると、そのナイルの左右10キロくらいは青々とした緑地帯である。ここに野菜も果物も繁茂する。「エジプトはナイル川の賜である」と言われるが、本当にそうだと実感できる。

貧しい家が多いが、屋根に瓦やトタンなど絶無である。動物などが入らないように、荒っぽい屋根である。空に雲はない。あくまでも青一色だ。

地中海に向けて北上すると、ひとかけらの雲があつた。泣くほど嬉しかった。ところが、いよいよ地中海に近づきアレキサンドリアに着く頃には、何と、雨が降ってきた。

アレキサンダーもクレオパトラも、ここに生活した。だから今でもアレキサンドリアと呼ばれるのである。

考えてみれば、東京はアレキサンドリアのようなものだ。梅雨が、実は「恵みの雨だ」という私の言い分を分かっていただけだろうか。

快晴の空も美しいが、雨も又美しいと思ふ。

私の親友の叔父さんは、台湾省の知事

だった。知事になる前の若い頃、勿論エアコンなどない。「盥」に水を入れ、その中で勉強した。私の友人は、その体に冷水をかけるのが日課だったそうである。

私にも勉強した時代があつたが、小平のアパートにエアコンはなかつた。駅近くの喫茶店に入り、そこで勉強し続けたものである。

今は、どこの家にもエアコンがある。それで勉強できないと言ったら罰が当たるとぞ。

コロナで生活のリズムが狂うかも知れぬ。それを時代や親や学校のせいにしてはならぬ。戦う者は勝ち、怠ける者は敗れるのだ。

人間に、生まれついで能力差などない。若しあるとすれば、頑張ることのできる資質を、「自己形成」できるかどうかだ。

実は私も、意志の強い方ではない。人生の成功者とも言えないだろう。振り返れば悔いがある。諸君は若い。戦えば何事も成し遂げられる世代である。

今小学生であるか、中学生であるか、高校生であるかにかかわらず、諸君が噛みしめるべき言葉は一つ。戦えば勝ち、怠れば負けると言うことだ。

コロナごときにかまけ、学校をサボってはならぬ。人生で一番大切なことはリズムだと私は思う。

そのリズムを守って戦うとき、君は必ず人生の勝者となる。ご健闘を。

「梅雨は恵み」は事実だが、前例のない豪雨に伊豆の人々は苦しめられている。執筆と公表に時差のあるのは文章の常だが、命を失われた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

学校見学説明会のお知らせ

上履きは
不要です

学校生活・学費・入学試験のことなど、みなさんが気になることを詳しくご説明するほか、進学について本校教員と直接お話いただける相談コーナーもご用意しております。勉強に、クラブに、学校行事にとことん打ち込める狭山ヶ丘学園！ 皆様のご参加を心からお待ちしております。



※以下の説明会や相談会等はすべて本校ウェブサイトにて参加予約が必要です。また、今後の状況により内容等に変更が生じる場合があります。最新情報は本校ウェブサイトをご覧ください。

要WEB予約 附属中学校見学説明会

第1回 7月18日(日)

10:00 開始

スクールバスの運行があります



- ・学校長挨拶並びに本校概要説明・入試要項説明
- ・質疑応答

| | 実施日 | 開始時間 |
|-----|-----------|---------|
| 第2回 | 9月5日(日) | 11:30開始 |
| 第3回 | 10月9日(土) | 14:00開始 |
| 第4回 | 11月14日(日) | 10:00開始 |
| 第5回 | 12月4日(土) | 14:00開始 |

附属中学校 オープンスクール

スクールバスの運行があります

小学生対象 8月21日(土) 10:00から開始 要WEB予約

※詳細は本校ウェブサイトをご覧ください。

校内見学 実施予定 体験授業

入試個別
相談



要WEB予約 高等学校見学説明会

第1回 7月25日(日)

10:00 開始

スクールバスの運行があります



- ・学校長挨拶並びに本校概要説明・入試要項説明
- ・質疑応答・教科別学習法ガイダンス・個別相談(予約制)

| | 実施日 | 開始時間 |
|-----|-----------|---------|
| 第2回 | 8月22日(日) | 10:00開始 |
| 第3回 | 9月19日(日) | |
| 第4回 | 10月17日(日) | |
| 第5回 | 11月21日(日) | |

要WEB予約 高等学校 入試個別相談会

スクールバスは運行いたしません

▶今後の予定

| | 実施日 | 開始時間 |
|-----|-----------|---------|
| 第1回 | 9月26日(日) | 9:00開始 |
| 第2回 | 10月31日(日) | 14:00開始 |
| 第3回 | 11月14日(日) | |
| 第4回 | 11月27日(土) | |
| 第5回 | 12月11日(土) | 14:00開始 |
| 第6回 | 12月19日(日) | 9:00開始 |
| 第7回 | 12月28日(火) | |



学校見学説明会当日は
2 駅よりスクールバスを
運行いたします。

西武新宿線

入 替

東口より
約15分

西武バス折り返し所

JR八高線

箱根ヶ崎

西口より
約20分

送迎バス④乗り場

駐車スペースがないため、
車での来校はご遠慮ください。
詳細は本校ウェブサイトをご覧ください。

HP 狭山ヶ丘学園 検索



狭山ヶ丘学園のウェブサイトがリニューアルしました!

本学園のウェブサイトが4月からリニューアルいたしました。中等部と高等部を一体化させ、学園全体の情報に簡単にアクセスしていただけるように改善しました。また、モバイルファーストの考え方を取り入れ、モバイル端末でも見やすいサイトを目指しています。

「SAOKA Journal」という日々の学園の様子や、教育活動、部活動の活躍を掲載するコンテンツも新たに設け、新しい情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。

中等部・高等部
ともに、
同じアドレスに
なりました



sayamagaoka-h.ed.jp

令和3年度 体育祭



—2年分の思いを込めて、今年は見せよう狭丘魂!—

体育祭を終えて

保健体育科主任 引地美果

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響ですべての行事が中止となり、今回の体育祭が久しぶりに大きな行事となりました。まずは、様々な人たちの協力のおかげで無事に開催できたことに安堵しています。また、多くの感染症予防のための制限がありながらも、各競技に躍動する姿、声援は送れなくても仲間の頑張りを懸命に拍手で応える姿、体育委員を中心とし全生徒が率先して体育祭を運営している姿、すべての場面で狭山ヶ丘生としてのエネルギーが溢れている姿を見て、感動しました。この経験を自信にして、これからの学校生活をより有意義なものしてくれることを期待しています。

6月25日(金)に体育祭がメットライフドームにて盛大に開催されました。昨年は、新型コロナウイルスの影響で開催できなかったため、2年ぶりの開催となりました。感染症対策で制約も多し中、生徒達は目を輝かせ、久しぶりの行事に一生懸命臨みました。優勝クラスは中等部は2年2組、高等部は3年K組でした。



2年越しの体育祭を終えて

体育委員長 3年F組 福田彩紗
(所沢市立小手指中学校出身)

今年の体育祭は例年とは違って、感染症対策を万全に行なった上での、2年越しの体育祭でした。何よりも、このような状況の中で体育祭を行えたことがとても嬉しかったです。

昨年はコロナの影響で行事が全くできなかったため、仲間と協力して一つのことを成し遂げることで、喜びや悔しさは例年よりも何倍も大きく感じました。脚きりりレーでは、学年ごとの競争でしたが、一回戦、二回戦と必死に戦い、最後まで結果が分からず、昂揚感は今でも鮮明に覚えています。マスク越しでしたが、メットライフドームで躍動する仲間達からは笑顔が溢れていました。

この体育祭を終えて、今まで当たり前できていた行事の大切さと、仲間と何かを協力して成し遂げる喜びを新しい感動として体験できました。今もまだ新型コロナウイルスの感染は収束していませんが、一人一人が感染症対策を続けていけば、少しずつ普通の学校生活に戻れると思います。夏休み明けには文化祭も待っています。体育祭で成長できたことをいかして、これからの学校生活や勉強、部活動に励んでいきます。



定期演奏会 多くのご声援ありがとうございました

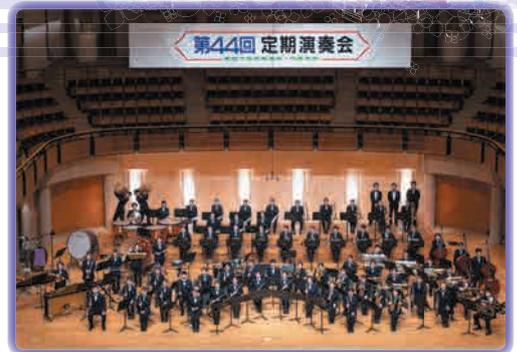
定期演奏会を終えて 3年E組 樋口直緒 (狭山市立狭山台中学校出身)

私たち吹奏楽部は、6月6日(日)に所沢市民文化センターミュージアムにて第44回定期演奏会を開催しました。

4月に29人の新たな仲間を迎えてから、3学年そろっての初めてのステージでした。久しぶりの本番でもあり不安も大きかったのですが、800名を超えるお客様にお越しいただき、定期演奏会を盛大に開催できたことを大変嬉しく思います。いざ舞台上に立ち、お客様を目の前にした時、自分たちの演奏を沢山の方々を楽しみにしてくださっているのだということを改めて実感しました。自分たちは目の

前のことに精一杯になってしまっていて、「聴いてくださる方の心に響く音楽を奏でる」といういちはん大事なお客を忘れていたことに気づくことができました。お客様の温かな表情や拍手を目の当たりにし、これからは沢山の人に応援される吹奏楽部で在りたい、そう強く感じました。

次の本番は3年生にとっては最後のコンクールです。毎日いっぱい練習ができる環境があること、一緒に切磋琢磨し合える仲間がいること、何より私たちの演奏を楽しみにして下さるお客様がいることへの感謝の気持ちを忘れずに部員一丸となって頑張ります。



高3 校外学習を終えて

3年B組 永井莉乃
(狭山ヶ丘高等学校付属中学校出身)

「長瀬」という地名は静かな川の流れが続くことからついたが、川の名は荒れる川と書いて「荒川」と言うのだと船頭さんが話してくれた。軽妙な語り口で長瀬の景色を紹介してくださり、非常に面白かった。

風に揺れる木々の音、緩やかな川の流れの音、竿が川底の砂利をかく音は私を大自然の中に惹き込んだ。

同級生と共に心地よい時間を過ごすことができた。このような機会を与えてくださったことに感謝します。



中学 理科実習を終えて

2年2組 粕谷采見
(所沢市立林小学校出身)

城ヶ島で観察した地層には数多くの特徴があり、それぞれの地層の向きや、手触りの違いなど、自分が思っていた以上に細かいことに気づきました。最後に回った京急油壺マリンパークでは多くの種類の生き物の観察をしました。初めて見る魚や、見たことのある生き物でも動き方や鳴き声など、細かいことまでたくさん学ぶことができました。

今回の理科実習で学んだことはとても多く、体験を通してたくさんの知識を増やすことができました。



狭山ヶ丘学園の学び

～令和4年度からの新学習指導要領を踏まえて～

令和4年度からは、高等学校において新学習指導要領による教育がスタートします。新学習指導要領では、「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力」「実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」といった三つの力をバランスよく育むことを目指し、主体的・対話的で深い学びという視点から「何を学ぶか」だけではなく「どのように学ぶか」も重視されるようになります。今回は、5教科においてこうした新学習指導要領を踏まえて、今後どのように教育活動を展開していくのかをご紹介します。



英語科 主任 伊藤 亮太



本校の英語教育は、「授業」「ゼミ」「講座」という3つの方面から、「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語4技能をバランスよく育成することを目指しています。現在、高等部では一部の科目で習熟度別の授業を展開しています。これにより、自身の学力に合った授業を受けることが可能になり、基礎的な知識の定着をはかりたいと考える生徒から、大学入試に向けた実践演習を希望する生徒まで、幅広いニーズに応えています。中等部では音読やシャドーイングと音声に触れる機会を増やし、3学期に毎年校内でスピーチコンテストを実施しています。これに向けて、

授業内外で、論理的なテキストの作成や効果的な発表の仕方などを学びます。大学入試の改革にも本校は対応しております。高校3年生では共通テストの問題を授業内で演習し、模擬試験や実力テストでその実力を把握して、12月には本番に向けたトレーニングを集中的に行っています。大学入試で活用される民間の検定試験に向けて、高等部生に向けたTEAP対策講座や、中等部生に向けた英検対策講座を実施しています。それぞれスピーキングとライティングの分野の対策講座は、本校英語科教員と個別で、生徒に合わせて指導を行っています。



数学科 主任 下野 哲史



本校の数学教育は、物事の本質をきちんと捉えさせ、他の事柄に自ら応用させる力をつけることに主眼を置いて指導をしています。数学はそもそも論理的思考力を身につける教科です。公式1つとっても、その意義がしっかり理解出来ることやそのプロセスを理解すること、これをきちんと行っていくことで応用力が身に付き、入試問題であっても問われている本質的なところまでを理解し対応出来るのです。何よりも、すべての定義は矛盾が起らないように細部まで配

慮されていること、その美しさを感じられれば、数学力は飛躍的に向上することでしょう。そのような力をつけるために、常に自ら考えさせるように授業を進化させています。数学は紙とペンさえあればどこでも出来る学問です。本校の職員室では数学の教員がいつもペンを動かしている様子を目にすることでしょう。その後ろ姿は生徒にも良い影響を与えているようです。共に学び共に成長する。これが本校の数学科の指導方針です。



国語科 主任 遠藤 広之



令和4年度入学生(高等部)からは、新しい学習指導要領に基づいた教育が始まります。国語科においては史上、最も大きな変化となります。これまでは、「現代文」「古典」と大きく二つの分野に分かれていましたが、高校1年生の必修科目が「現代の国語」と「言語文化」という科目となり、その発展科目は「論理国語」「文学国語」「古典探究」となります。「現代の国語」では、論理的文章や実用的文章を扱いながら、論理に重点を置き言葉によって自身の思いや考え

を広げ、深め、伝えていく力を養います。「言語文化」では、文学的文章(古典・近代以降の文章)を扱い、文法や句法といった暗記だけではなく、作品を読み深めていく力をより養います。私たちの思考は、「言葉」で行われている以上、国語という教科を避けて通ることはできません。論理的思考、そしてその結果をどのように表現すればよいのか。生徒が主体的に思考と表現ができるようになることが、国語科の願いです。



理科 主任 川久保 卓



本校の理科教育は、学習指導要領に定める「科学的な自然観の育成」を目指して行われています。「科学的な自然観」とは、自然界における様々な事象を科学的に考察・分析し、適切に理解・活用するものの見方のことです。これを育成するために、中等部では、①「より多くの実物に触れる」、②「自然における現象を実験で体験すること」を中心に授業を展開し、「頭で考えるだけではない理科」を実践しています。具体的には、中等部の3年間を通して「理科実習」と呼ばれる課外活動を行い、3年次には課題研究に取り組みます。課題研究では、自分の決めたテーマに沿って調査・研究を続け、3年間の集大成としてスライド発表を行います。高等部では、新

年度よりカリキュラムが一新されます。これにより、これまでよりも自分に合った進路選択を高校1年次からできるようになります。1年次より、物理・化学・生物の基礎を学び、自分に合った学問分野を選択することで、より主体的な学びへとつながられるようになるでしょう。また、2年次以降の授業では、主に入試問題を通して高度な知識の運用の練習に取り組みます。そこで取り扱われる入試問題は、どれも各科目の担当者が精選したものであり、効率よく学習できるように配慮されたものです。これらの学習活動の結果、醸成された思考力・観察力・表現力が、本校において「科学的な自然観」を支える柱になっているのです。



地歴公民科 主任 地挽 保雄



歴史科目・地理科目・公民科目、それぞれの科目の専門性が求められる一方、近年では科目の枠にとらわれず、複合的に課題解決ができる能力が期待されています。本校では、単に知識の丸暗記に終始することなく、会得した知識を背景としながら、諸問題を解決していく力の養成をはかっています。1つの科目に固執せず、「日本史から見た世界の動き」「世界史の中の日本」といった形で常に全体像を意識することは勿論、事象を捉える上で、地理的概念なども取り入れつつ複合的に思考する授業を展開しています。最終的

には、興味・関心のあるテーマに関して、思考力によって得られた結果を文字として表現できる生徒の育成を目指しています。また、学力の三要素の1つである「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の実践を図るため、授業内でグループワークを取り入れることは勿論、テーマに関する論議課題なども生徒同士で討論し合いながらより良いものを模索する試みを行っています。これらの取り組みによって、単に知識を得るのではなく、自分自身の考えを理論的に発信できる生徒の育成を目指しています。

